

第3回

# 実践臨床薬学セミナー

～“患者さんに寄り添う”薬物療法、その想いと実践～

2023年

1月28日 土曜日

15:00～17:30(予定)

2021年、薬学教育において特に重要とされております代表的な8疾患に焦点を当てた『実践臨床薬学セミナー』を開催いたしました。2022年度は「糖尿病」を取り上げ、すでに薬剤師に求められる「薬学管理フォローアップに必要な視点と実践」を2022年7月9日に開催させていただき、大変好評を得ることができました。今回は視点を大きく変えて、「患者さんに寄り添う”薬物療法、その想いと実践」というテーマでセミナーを開催いたします。

今回のテーマは“スティグマ(stigma)”に注目し、医療者は患者さんの想いをどのように捉え、支援したらよいかについて、患者、医師、薬剤師、看護師というさまざまな立場で考え、今後のアドボカシー(advocacy)活動について意見交換してみたいと思います。

視聴  
無料

WEB(Zoom)での  
オンライン開催  
※先着300名 事前予約制

講演  
内容

- 15:00～15:10 ●【オープニング・リマックス】 朝倉 俊成 (臨床薬学教育研究センター センター長・教授)
- 【講演】 座長:新潟薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センター センター長・教授 朝倉 俊成
- 【講演1】 15:10～15:50 講演1 <スティグマに配慮するとはどういうことか?>  
社会的強者である医療専門職に伝えたいこと (糖尿病および肥満関連スティグマ、社会的マイノリティーのこと)  
演者: バイオ・サイコ・ソーシャル糖尿病研究所代表 杉本 正毅 先生
- 【講演2】 15:50～16:20 講演2 <“患者さんに寄り添う”とは～薬剤師と患者の立場から～>  
演者: HECサイエンスクリニック 薬局主任 平山 大徹 先生
- 16:20～16:30 休憩
- 【講演3】 16:30～17:00 講演3 <“患者さんに寄り添う”とは～薬剤師と看護師の立場から～>  
演者: メディカルケアクリニックかさま・訪問看護ステーションあかり 副院長 関 明美 先生
- 17:00～17:20 ●【総合討論】
- 17:20～17:30 ●【クロージング・リマックス】 坂爪 重明 (臨床薬学教育研究センター 副センター長・教授)

受講  
申込

- 【参加費】 無料 (新潟薬科大学生涯研修認定制度:1単位を発行いたします)
- 【参加要件】 「受講者氏名」「電話番号」「所属医療機関名」「薬剤師免許登録番号」「Zoomで使用するメールアドレス」を二次元コードにご登録、またはrinsyo-info@nupals.ac.jpまでお送りください。

申込期限 1月25日(水)まで

先着300名まで(参加者多数の場合はご了承下さい)



お申込みはこちら

○後日、ご登録いただきましたE-MailにZoom参加のご案内の連絡をさせていただきます。

〈その他、ご不明な点に関する問い合わせ先〉  
新潟薬科大学事務部教務第一課 (0250-25-5203)



新潟薬科大学

Niigata University of Pharmacy and Medical and Life Sciences